発行日
2021年12月25日

アジアの女性と子どもネットワーク

AWC通信

コロナの中でのタイの子どもたち

マリ・クリスティーヌ

コロナウィルスの蔓延がなかなか収まりません。アメリカのジョンズ・ホプキンス大学の調査によると12月中旬で世界の感染者数は2億７千万人を超え、500万人以上の方が亡くなられ、100年前に世界で大流行したスペイン風邪を感染者数、死者数とも上回ったそうです。日本でも入国制限に加えて、マスク、手洗い、三密回避などが欠かせない日々が続いています。

私たちが協力事業を行っているタイでは、国立公園なども閉鎖されて立ち入り禁止の状況が続いており、食料と生活必需品以外の店は閉店命令が出されている地域もあります。

タイ語の勉強

子どもたちの学校もチェンマイ市内では今年は数日のみ登校できただけでその後は登校禁止が続いており、子どもたちはオンラインでの家庭学習が義務付けられているそうです。AIDS孤児の施設等では、この遠隔授業に向けてパソコンが準備できるかと危惧されていましたが、中古パソコンの寄付を受けることができ、かろうじて各学年1台ずつのパソコンが揃ったようです。しかし、低学年の子どもは飽きてしまい集中させることが難しいようです。市内の各家庭でも、子どもたちがオンラインの授業では気が散ってしまうことが多く、学力低下と運動不足での体力低下が心配だと聞きました。

週に1度の宿題の提出

山の村は自主的に閉鎖しているところが多く、コロナウィルスの侵入はおさえられているようです。子どもたちの様子をバンメーランカムスクールに問い合わせました。電力すら不安定な上に各家庭にパソコンやWi-Fiなどはないため、一週間に一度登校してプリントをもらい、家でその宿題をこなして提出し、更に新しいプリントを受け取るという方法で勉強を続けているようです。低学年の子どものタイ語や、中学生の英語の発音などは、電池式のカセットレコーダーも一緒に貸し出して先生が入れた音声を聞きながら勉強しているとのこと。子どもたちの学力を伸ばすために先生方が色々と工夫していることが良くわかります。幸いにも23年前に私たちが学校建設をした頃の生徒が親になっているので、家庭で宿題などを見てやることができるとのことでした。学校で飼育している豚や鶏、アヒルなどの世話は近所に住む先生や子どもが毎日行っています。

カセットレコーダーを使って

鶏の世話をする子どもたち

山の村の様子は不便ではありますが、町の子どもたちが学校閉鎖とオンライン授業で体を動かすことが少なくなり、些細なことで兄弟げんかなどが絶えず、親子共々ストレスが増しているという状況に比べると、家や畑の手伝いをしながらテープレコーダーで宿題をしている山の子どもたちの方が健康的に感じます。

改めて思うことは、人々が当然のようにが世界中を移動し、便利さや効率性を求め続ける近代的な暮らしの中で、コロナウィルスが私たちの日常を困難にしてしまったということです。昨年のこの通信にも書きましたが、今回のコロナの脅威を教訓として、お互いに助け合いながら自然と共存する、メーランカム村のような人間らしい山の暮らしを見習わなければならないのではないでしょうか。そしてそれこそがSDGsの実現に向けての大きな一歩なのではないかと思います。

ミャンマーへの緊急支援　（おなかいっぱいプロジェクト）

アカ族の村の女性

2月1日にミャンマーで起きたクーデターでは、全権を掌握した国軍が住民への弾圧を続けています。タイ北部のメーサイとの国境の町タチレクでも、銃を構えた軍人が見張っているため日中でも危険で外出が難しく、仕事にも行かれない状況が続いています。4月末に、日用品の価格高騰で普段から蓄えのない貧困層が日々の暮らしにも事欠く状態となっているとの報告を受け、タイの国境地帯やミャンマーのタチレクでの支援事業を実施しているバーンクルーナム財団を通して支援品を届けました。

タチレクには、非公式ですが物資を運搬する業者がメーサイの川をボートで渡っており、タイ側の国境警備隊はミャンマーの情勢に同情的で物資運搬は見て見ぬふりをしているので、そのルートに乗せての支援となりました。

ワー族の孤児院の子どもたち

野菜などは自給自足できるとのことで、タイで米、乾物、調味料を中心とした食料品と家庭医薬品などの支援品を購入してピックアップトラックに載せ、正規ルートではないルートで国境を越えてミャンマー側のアカ族の3村の人々と、ワー族の孤児院の子どもたちに手渡ししました。

報道によると少数民族の支配地域では、12月以降、戦闘に巻き込まれた住民数千人が国境を越えてタイ側に逃れるなど、緊張が高まっているとのことです。このような状況が続くと私たちの支援地域でも国籍のない人々が増加する可能性があり心配が募ります。

児童買春･児童ポルノ禁止法の抜本的改正を求めて

「子ども買春・子どもポルノ禁止法」は1999年5月に成立し、11月から施行されました。今年でこの法律ができて22年が経ちます。これまでに、二度の法改正が行われてきましたが、被害の悪化はいまだに止めることができません。女子高校生を売り物にしたJKビジネスは、中学生や小学生にまで低年齢化している状況も見られています。

2021年7月米国国務省人身取引監視対策本部が発行した「人身売買報告書」では、「3年連続で日本政府は、未成年の女子高校生と成人との出会いをあっせんする「JK」ビジネスや、ポルノ出演強要における性的搾取目的の児童の人身取引に対する法執行措置を報告しなかった。COVID-19 の感染拡大により、失業および家庭内暴力は急増し、それにより、特に家出した児童など、一部の日本人女性や少女が「援助交際」に従事する危険性が高まった。」と報告しています。

このような子どもの性の商品化を放置せず、性搾取、性虐待などの子どもの被害をなくしていくために私たちは4月7日、ECPAT/ストップ子ども買春の会を中心とした11団体と合同で「児童買春・児童ポルノ禁止法の抜本的改正を求める要望書」を、内閣総理大臣、法務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、国家公安委員長あてに提出しました。

しかし要望書の提出だけでは大きな声にならないため、4月22日から署名活動も実施しました。AWCにお寄せいただいた署名は9月末には859通となりました。署名にご協力いただきました方々に心から御礼申し上げます。

署名を提出する準備中に総選挙があり、署名の提出は22年の通常国会になる予定です。子どもをめぐる状況が良くなっていくように、私たちはこの活動にこれからも力を注いでいきたいと思います。

若者たちの環境美化活動　（お互いさまプロジェクト）

清掃作業をする若者たち

タイでもコロナの問題は深刻化しています。国籍のない子どももおり、安い賃金で働く彼らの生活は非常に不安定です。

そんな中、お互いさまプロジェクトで支援を続けているチェンライの若者たちが、1月にチェンライ県フエイチョンプー郡のノンフォーマルエデュケーションの校舎周辺の環境美化活動を行いました。校舎の周りをきれいにするという目的に加え、同じ境遇の仲間たちと体を動かし、日頃彼らが抱えている不安や鬱々とした気持ちを発散するという効果も期待しての活動です。

加えて、郡内の小さなパーラン小学校（全校生徒28名、ミエン族）で毛布の配布も行いました。この地方は標高が高く冬の夜間は気温が2度位まで下がります。寒波が到来すると凍死することもあり、電気やガスなど何も来ていない村では、家族全員が囲炉裏のまわりに集まって寝ているそうです。毛布は、この冬の異常な冷え込み中で村の人々に大変喜ばれています。　（AWCユースリーダー　原梓）

学校の補修事業　（お互いさまプロジェクト）

熱心に作業する若者たち

2月11日、お互いさまプロジェクトのリーダーのギー先生が、教え子の若者8名を連れてパーングラン村のノンフォーマルエデュケーションの校舎の補修作業を行いました。

パーングラン村までは、町から車で約一時間。途中から舗装されていないガタガタ道を行きます。この学校では、町から来ている先生が一人で子どもたちを教えています。先生は火曜日から土曜日までは学校に泊まり込み、日曜と月曜日だけ町の自宅に帰ります。村人の信頼が厚い先生です。大変残念なことに、タイ人の中には教師であっても山地民を差別する人がいますが、この先生は山地民の子どもたちが少しでも良い暮らしができるように力を尽くされています。

若者たちは、楽しみながらも一生懸命に学校の補修作業を行いました。彼らは、スラムや薬物が蔓延している地域で育っているため、熱心な子ども思いの先生との触れあいや、循環型の生活様式を目指しているパーングラン村での清潔な暮らしを見て学ぶことが、彼らの今後の生活に良い影響を与えるのではないかと、ギー先生も期待しているそうです。様々な角度から多くの事を学び、未来に活かしてもらいたいと私たちも心から願っています。　（AWCユースリーダー　原梓）

奨学金支援　（AIDS孤児里親基金）

希望の家の子どもたち（2019年）

「希望の家」はAIDSや麻薬などで親を失い、教育はおろか生きるすべのない山岳民族の子どもの健全な成育発達を願って作られた養育の家です。現在ここで暮らしている子どもたちは幼稚園から高校生まで23名（女子13名、男子10名）です。

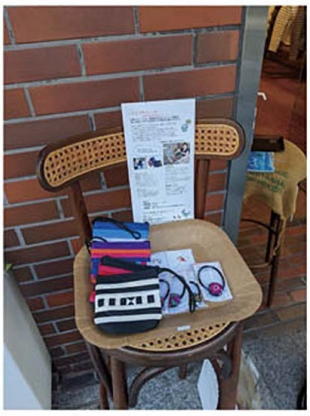
コロナ禍の今年はオンライン教育が義務付けられ、子どもたちは一日中施設の中で過ごしました。授業が始まっても子どもたちがパソコンの前に座っていない、しばらく目を離すと寝転んで他のことをしている子がいる等の問題に加えて、学校給食もないので、スタッフは23人分の食事を3食とも作る必要があり、大変な状況のようです。寮長のタッサニーさんは、一日も早く通常通り子どもたちが学校に通える日が来ることを願っているとのことです。

AWCでは今年も「希望の家」への奨学支援金を届けました。

高校生がSDGsをアピール

11月13日、横浜元町商店街で「SDGs PR DAY」が開催され、横浜女学院の高校生が店の前でSDGsについてのアンケート調査と、各店舗での取り組みに関しての説明を行いました。

好天に恵まれた元町商店街は多くの人が行き交い、足を止めて熱心に話に耳を傾けていました。



SDGsについての説明に加えて、AWCの活動紹介やリス族のポーチやアカ族の刺繍が入ったヘアゴムなどの販売も実施してくださいました。

商店街がSDGsを理解し広めていくこのような活動は素晴らしいと思います。

くるくるマルシェ

12月11日・12日、日本大通の神奈川県住宅供給公社１階のライフデザインラボで開催された寄付月間2021のイベント「くるくるマルシェ」に参加しました。

「寄付でつなぐ未来のバトン」をコンセプトに、大人も子どもも体験型の学習を楽しめるイベントです。参加することが寄付に繋がるという、ユニークな16の講座やワークショップがリアル＆オンラインで行われ、子どもたちも多数参加しました。

久しぶりの対面型イベントで、タイ、ラオスの山岳民族の刺しゅうや織物、ストリートチルドレン保護施設で作られたアクセサリーなどを販売しながら、山の村での暮らしについてお話しさせていただきました。

ご寄付・ご協力御礼（2020年12月25日～2021年12月24日）（敬称略・順不同）

【AIDS孤児里親基金】石井陽子　堀江五十鈴　貴田晞照　増井俊樹　花島磨里子　阿部潔　一柳芳子　高品都　増井俊樹　村田順子　大橋律子　寺尾和子　花谷泉　谷口雅昭　山口正子　中原義文・啓子　糠澤佐和子　支援キルトの会ふーぷ　高橋清実　山本博子
【おなかいっぱいプロジェクト】赤間幸子　大濱悦子　柳原秀子　川口幸博　早川すみえ　堀江五十鈴　幼き聖マリア修道会　阿部潔　貴田晞照　吉岡啓子　高品都　佐藤志津子　村田順子　尾形登志雄　寺尾和子　花谷泉　澤田正子　高田ミチ子　圓真耶子　(株)ファランドール　朝廣玲子　小林惠津子　丸山佳子　大橋真理子　大槻裕美　尾崎知子　菊池幸江　岡部淑夫　増井俊樹　渡辺和美　金子セツ子　半田あや　山本嘉彦　福島生子　橋本美史　支援キルトの会ふーぷ　安藤芳子　落合貴美恵
【トイライブラリープロジェクト】貴田晞照　阿部潔　高品都　花谷泉　増井俊樹　マリ・クリスティーヌ
【AWC基金】増井俊樹　原雄次郎　伊藤康子　佐伯照夫　八島惠理　笹田克子　組山由美　高嶋威男　川辺次郎　㈱ケイブラン　五十嵐千恵子　秋元千代子　半田あや　竹田英一・啓子　小嶋紘子　福島生子　白澤ひとみ　佐藤真吾　田口美恵子　松江真理　東京女子大学同窓会　横浜女学院高等学校　伊藤源子　清水雅子　国際ソロプチミスト横浜西
【おたがいさまプロジェクト】増井俊樹　安藤芳子　阿部潔　増井俊樹　花谷泉　茨木唯衣　原梓　支援キルトの会ふーぷ
【災害復興支援】鈴木八重子　増井俊樹
【書き損じはがき・切手】黒須知二　大塚久仁子・南美　川口幸博　大江絵美　高田ミチ子　岡部淑夫　支援キルトの会ふーぷ　横田京子　巽司　川辺次郎　田窪廣子　阿部潔　茨木夢子　朝博玲子　大橋真理子　竹田英一・啓子　田路あつ子　安藤芳子　五十嵐千恵子　重原文明　笠本雅己　林啓子　大槌裕子　堀江昭　菊池幸江　岡田靖子 ガールスカウト山梨県連盟　環境ワンダーランド　金子セツ子　山本佳世　馬淵信彦　宮崎恵子　加藤久美子　谷内美和子　半田あや　田窪廣子　川合栄美子　宮本和枝　中川順子　小嶋紘子　上大迫仁美　田口美恵子　橋本美史　金子安男　落合貴美恵　匿名希望の方々
※記入漏れ、間違いなどございましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

ご寄付のお願い

アジアの女性と子どもネットワークの事業は皆様のご寄付で実施しています。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

郵便振替　00200-0-4109
口座名：AWC

書き損じはがき　ご寄付のお願い

「おなかいっぱいプロジェクト」は、書き損じはがき2枚で3食分の給食食材費になります。
お手元の書き損じはがきや未使用切手をぜひAWC事務局までお送りください。子どもたちの健やかな成長のためにご協力をよろしくお願いします。

AWC事務局：〒231-0015　横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9Ｆ YAAIC内

Asian Women & Children's Network
発行元：アジアの女性と子どもネットワーク
〒231-0015　横浜市中区尾上町3-39
尾上町ビル9F YAAIC内
Tel/FAX 045-650-5430　E-mail ： awc@h6.dion.ne.jp